

【有限会社 佐藤建設】

当社は、従業員あつての会社、会社あつての従業員であり、全社員が「入社して良かった」と思える組織作りに努めています。それぞれの定年退職まで一人として欠けることなく、一緒に地域社会の発展に貢献出来るよう、日々技術を磨き、安全・安心・丁寧な施工に努めている会社です。

昭和17年に建築業である「佐藤建築工業所」として創業し、昭和52年に「有限会社佐藤建設」として法人化しました。現在では軌道工事と公共の土木工事を請け負う総合建設会社として事業を営んでいます。

【トピックス】

○安全大会について

当社の年度決算月は5月です。安全大会開催は、前年度までは11月に行っていました。安全意識向上を図るために、年度末決算を乗り越え新年度を迎え、ひと段落した6月に行う事で充実した安全大会ができると考え開催月を変えました。会津鉄道施設課長、福島支店線路課長、会津若松出張所長より来賓挨拶をいただき、心新たに無事故無事象「ゼロ」の誓いを行いました。



○工事完遂について

会津線 西若松駅～南若松駅間 上下口踏切接続軌道ブロック挿入工事は、10月12日(土)昼夜及び10月19日(土)昼夜により工事を行いました。4車線道路を片側2車線分ずつ、二日間掛けての接続軌道ブロックの挿入工事でした。約6mの片側を全面通行止めとし、対側を対面交通規制にて車両、歩行者を止めること無く施工することが出来ました。これは、当社の強みである土木部と軌道部が融合して成し得た工事だったと自負しています。また、誰もケガすることなく完遂出来たことは、会津若松出張所皆さまのご指導のお陰だと思っています。ありがとうございました。



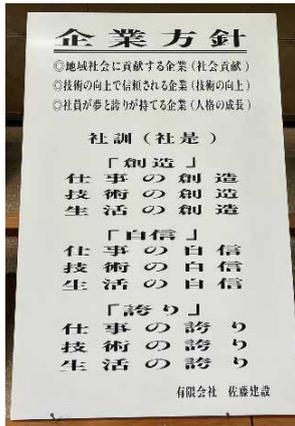
【重機使用による路盤掘削】



【接続軌道敷設後】

○福島アプローチ助勤について

10月26日(土)昼夜に第2回福島アプローチ切替工事への助勤を行いました。今年の3月～4月にかけては、バラスト軌道敷設、軌道低下による軌道整備等を行うとともに、工事に使用する砕石袋詰め(8,000袋)作成にも携わらせて頂きました。第1回切替工事から軌道作業を行ってきたこともあり、アプローチ線が形になっていく事が楽しみでもあり、誇りにすら感じる事が出来ました。貴



重な経験を与えて頂きました福島アプローチ軌道作業所の所長をはじめ社員の方々に感謝申し上げます。また、(株)やまと建設の皆さまにも大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



【アプローチ軌道助勤】

○下郷町立旭田小学校課外授業

当社の地域密着内容をご紹介します。子供たちが通学する小学校があります。その通学途中に蜂が巣を作り、枯れていつ倒れてもおかしくない巨木がありました。校長先生より相談を受けて立ち上がったのが「土木部」の面々でした。振動工具を使用するにあたっての注意点や、保護具を使用する理由等を説明して、いざ実践!



子供たちも興味をもって伐採方法の説明を聞き、チェーンソー伐採に目を輝かせて見学していました。無事枯れた巨木が取り除かれ、安心して通学出来るようになったことで、子供たちより感謝された取組みでした。輪切りにした木材は、3学期の授業で作品になるそうです。



《職場のホープの紹介》

渡部 貴友(わたなべ たかとも)48歳

令和5年8月に入社した貴友さんは前職が土木関係だったこともあり、多くの資格を保有しています。今年2級土木施工管理技士にも合格。6月からは下級線PC挿入の軌陸BH(グリッパー)オペとして活躍しています。性格が明るく職場のムードメーカー的存在で、皆から好かれています。



- 《鉄道経験》 1年4ヵ月
- 《抱負》 日々成長
- 《特技》 BHによる道床整理
- 《趣味》 食べ歩き
- 《夢》 世界の軌道工事を見てみたい

湯田 輝彦(ゆだ てるひこ)46歳

令和5年9月に入社した輝彦さんは、入社してから10個の資格を取得しました。BHオペの誘導も丁寧で、12月からは軌陸BH(四頭)のオペとしても従事しており、疑問点をそのままにせず携帯などにメモや写真で残し、仕事に真剣に取り組んでいます。



- 《鉄道経験》 1年3ヵ月
- 《抱負》 責任感を持ち、会社に貢献できるように頑張る。
- 《特技》 車両整備
- 《趣味》 野球・ゴルフ
- 《夢》 家族で南国へ移住